

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134:<1.0E1 Cs137:2.1E1 全β:2.6E1 H3:1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134:1.1E1 Cs137:4.0E1 全β:4.1E1 H3:1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134:200~340 Cs137:650~1100 全β:920~1900 Sr90:10~20 H3:ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,300 (2019.1時点)	Cs134:3.8E0 2.8E0 Cs137:4.2E1 4.1E1 (2019.1.16) (2019.2.14)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134:7.7E0 Cs137:4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中であったが2015年11月に調査完了)】 Cs134:1.9E+3 Cs137:6.8E+3 全β:3.0E+6 (2015.4.2)	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137:2.0E3~1.6E7 Sr90:5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134:2.3E+03 Cs-137:4.3E+03 全β:6.6E+07 (2013.11.19)	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約85 ※1 (2015.6.9時点) 約65※2 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:代表タンクの水量を基に算出。 ※2:全5タンクの水量を算出して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	- (2017.8時点)	-	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5、6号タービン建屋海側 5、6号機スクリーン近傍	(5号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約550 (6号機循環水ポンプ吐出弁ピット) 約850 (5号機逆洗弁ピット) 約1,500 (6号機逆洗弁ピット) 約1,500	【5号機循環水ポンプ吐出弁ピット】(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.4E0 【6号機循環水ポンプ吐出弁ピット】(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.7E0 【5号機逆洗弁ピット】(2016.10.3) Cs134:3.0E0 Cs137:1.9E1 【6号機逆洗弁ピット】(2016.10.3) Cs134:1.5E0 Cs137:1.1E1	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:1.4E1 Cs137:2.5E2 全β: 2.9E2 (2018.4.25) 【2号機T/B上屋】 Cs134:4.4E0 Cs137:4.8E1 全β: 5.9E1 (2018.4.25)	
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1990 (2019.1.28)	Cs134:1.6E+02 Cs137:1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	過去、T/B地下の滞留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炉注ポンプ水源として使用するための準備中)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2030 (2019.1.28)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2018.12.18) H3:1.5E6 Sr-90:ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1700 <u>0</u> (<u>残水処理中</u>)	<u>Cs134: ND</u> <u>Cs137: 1.0E0</u> <u>全β: ND</u> (<u>2019.2.14</u>) H3 :1.2E5 <u>7.9E4</u> (2011.1.4) (<u>2019.2.14</u>)	プラント保有水を貯留
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.4E5 <u>1.6E5</u> (2019.1.23) (<u>2019.1.30</u>) H3: 4.3E2 (2019.1.2)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.2E4 <u>4.8E4</u> (2019.1.23) (<u>2019.2.20</u>) H3:ND (2019.1.2) (<u>2019.2.6</u>)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.3E4 <u>1.4E5</u> (2019.1.24) (<u>2019.2.21</u>) H3: 2.9E2 (2019.1.3) (<u>2019.2.7</u>)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β：7.8E6 (2018.9.11) (参考：漏えい検知孔水) 全β：ND (2018.11.22) H3：ND (2018.11.1)	水位計の計測限界水深未満（一部残水あり） (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満（一部残水あり） (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1～4号機周辺	約4～510 (2017.10～2018.2) 約1～1400 (2018.12)	Cs134: 6.1E0～6.7E1 Cs137: 7.1E1～5.7E2 全β：8.0E1～8.2E2 H3: ND～3.3E2 (2017.10～2018.2) 【1号機コントロールケーブルダクト】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 1.3E2 全β：1.5E2 H3: ND (2018.12.6) 【集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト】 Cs134: 2.3E1 Cs137: 2.3E2 全β：2.5E2 H3: 1.3E3 (2018.12.22) 【1号機薬品タンク連絡ダクト】 Cs134: 6.1E1 Cs137: 7.3E2 全β：6.3E2 H3: ND (2018.12.18) 【4号機放射性流体用配管ダクト】 Cs134: 4.8E1 Cs137: 5.0E2 全β：6.4E2 H3: 4.1E4 (2019.1.10)	
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1600 (2017.10) 約1600 (2018.12.12)	Cs134: 9.5E0 Cs137: 9.6E1 全β：1.4E2 H3: ND (2018.12.12)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2018.12.19時点)	Cs134: 2.9E0 Cs137: 4.5E1 全β：5.6E1 (2018.12.18)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—	充填済 (建屋接続部近傍を除く)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134: 5.6E5 Cs137: 1.9E6 全β：4.2E6 H3：1.5E5 (2015.2.27)	充填済 (立坑D上部を除く)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約860 (2017.10) 約830 (2018.12.10)	Cs134: 4.8E1 Cs137: 4.0E2 全β：4.4E2 H3: ND (2017.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—	充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1) 約1~830 (2018.12)	Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.2E2 全β:5.1E1~1.4E3 H3:ND~3.1E2 (2015.10~2016.1) 【2号機変圧器防災用トレンチ】 Cs134:1.7E1 Cs137:1.6E2 全β:7.2E2 H3:1.7E3 (2018.12.7) 【1号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:1.5E1 Cs137:1.7E2 全β:1.9E2 H3:ND (2018.12.6) 【2号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:3.5E0 Cs127:5.8E1 全β:7.8E1 H3:ND (2018.12.7) 【4号機主変圧器ケーブルダクト】 Cs134:4.5E0 Cs127:5.0E1 全β:5.4E1 H3:1.2E2 (2018.12.10)	
29	1~4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:1.2E5 Cs137:1.5E6 全β:1.9E6 H-3:3.9E4 (2018.12.04)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	No.47,48 Cs134:ND~3.9E1 Cs137:4.8E1~9.6E1 全β:7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	
31-1	1~4号機逆洗弁ビット	・1号機逆洗弁ビット ・2号機逆洗弁ビット ・3号機逆洗弁ビット ・4号機逆洗弁ビット	1~4号タービン建 屋海側	(1号機逆洗弁ビット) 約300 約300 (2016.7.11) (2018.12.17) (2号機逆洗弁ビット) 約900 約900 (2016.7.11) (2018.12.21) (3号機逆洗弁ビット) 約700 約900 (2016.7.11) (2018.12.12) (4号機逆洗弁ビット) 約1300 約1400 (2016.7.11) (2018.12.12)	(1号機逆洗弁ビット) (2018.12.17) Cs134:1.4E3 Cs137:1.7E4 全β:2.0E4 H3:1.6E2 (2号機逆洗弁ビット) (2018.12.21) Cs134:3.9E1 Cs137:5.0E2 全β:5.8E2 H3:1.6E2 (3号機逆洗弁ビット) (2018.12.12) Cs134:6.5E2 Cs137:7.5E3 全β:8.8E3 H3:1.0E3 (4号機逆洗弁ビット) (2018.12.12) Cs134:6.7E1 Cs137:8.2E2 全β:1.0E3 H3:1.2E2	
31-2	1-4号機吐出弁ビット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ビット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ビット	1~4号タービン建 屋海側	【1号吐出弁ビット】 0 (2015.11) 【4号吐出弁ビット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ビット】 — 【4号機吐出弁ビット】 —	水抜き済

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約3800 約4200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2019.1.25) (2019.2.22) Cs134:2.4E2 2.4E2 Cs137:2.8E3 2.8E3 全β :3.8E3 4.4E3 H3 :2.5E2 3.5E2	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3000 約3600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2019.1.25) (2019.2.22) Cs134:8.4E1 8.4E1 Cs137:1.0E3 9.9E2 全β :1.6E3 1.6E3 H3 :1.5E2 1.8E2	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約600 約1600 (2018.12.17)	Cs134:3.6E1 3.1E1 Cs137:4.4E2 3.9E2 全β :5.1E2 5.1E2 H3 :2.2E2 1.9E2 (2019.1.9) (2019.2.6)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1100 (2019.1.29)	(2019.1.9) (2019.2.6) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 5.8E2 5.8E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1700 (2019.1.29)	(2019.1.16) (2019.2.21) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 2.0E1 1.3E1	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5.6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134:ND Cs134:ND～3.5 全β :ND～4.8 H-3:ND～140 (採水期間:2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs134:ND ND Cs137:ND～5.5E1 ND (2019.1.27) ND～5.9E1 (2019.2.24)	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134:ND Cs137:2.7 Sr90:ND H3: ND (2017.2.16)	パラスト水を貯留
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β :12.2 H-3:ND (2015.5.29)	純水を貯留 (震災後、放射性物質を 検出) 震災後、坂下ダム補給水 を貯留

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.2.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点) 約9,000 (2019.2.19時点)	【5号機】 Cs134:ND Cs137:ND 9.0E-1 H3: ND 全β: ND (2018.12.18) (2019.1.22) 【6号機】 Cs134:ND ND Cs137:ND 3.0E0 H3: ND 2.1E2 全β: ND (2018.12.20) (2019.1.24)	建屋滞留水処理の進捗に伴い、水質減
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中Rw排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3※ 3/4号サンピット 約2 5/6号サンピット 約5 集中Rwサンピット 約10 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンピット】 (2018.12.14) 全β:2.6E7 Cs134:1.9E6 Cs137:2.4E7 【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β:1.3E3 Cs134:2.4E2 Cs137:1.1E3 【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β:7.6E1 Cs134:1.2E1 Cs137:4.7E1 【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β:7.6E2 Cs134:1.5E2 Cs137:6.6E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	
48	5、6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 約500 (2019.1.10) <雨仕舞> 約200 (2019.1.10) <ポンプ室> 約60 (2019.1.10)	<タンク> Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β:1.5E2 H-3:2.9E3 Co60:4.9E1 (2019.1.10) <雨仕舞> Cs134:ND Cs137:3.3E1 全β:3.4E1 H-3:1.1E3 (2019.1.10) <ポンプ室> Cs134:ND Cs137:1.8E1 全β:1.5E1 H-3:1.5E3 (2019.1.10)	プラント保有水等を貯留